

人口流動による街の活性化について

質問 Q 農産品の朝市について

新郷地区を中心に量的には少ないですが、野菜の生産がされています。そこで、収穫した新鮮野菜や花の鉢物を朝市として直売をしてみたいのです。あくまでも季節感を大事に、その時々品の品物の収穫量に応じた開催期間を考慮します。

場所は日暮里・舎人ライナーの最終駅である、見沼代親水公園駅から徒歩数分で榛松地区に来るので、警察の協力を得てその一部の通りを朝市通りとして、都内からの集客を狙う事はいかがでしょうか。

その時には日暮里駅を中心にPRを戦略的にやる事はもちろんの事、駅構内の僅かなスペースでも川口市の期間限定アンテナショップを作る事が出来たら更に効果も期待できると思っています。ご見解をお伺いします。

答え A 朝市につきましては、「川口の農業を考える有識者会議」で、川口産農産物の販売強化を図るため、農業基本計画を策定するなかで重点施策のひとつとして実施するものと提案されています。

日暮里・舎人ライナーの見沼代親水公園駅を利用するなどの朝市につきましては、都内から多くの人を呼び込む有効な手段でもあり、地域の活性化につ

平成22年3月議会

一般質問 ダイジェスト版

一問一答方式を選択し執行部と視線を合わせ質問をする！

いてお伺いします。

質問 Q 大東町会エリアへの公共下水道整備について

新郷地区における公共下水道の普及率は平成21年度末の見込みで47%となつてい

大東町会エリアへの公共下水道整備について

質問 Q 新郷地区における公共下水道の普及率は平成21年度末の見込みで47%となつてい

ながるとともに、農業振興策のひとつであることから、実施方法などを含め、関係機関や関係団体と研究して参ります。



公共交通について

質問 Q 平成20年度の東京都市圏パーソントリップ調査について

私はこれまで、交通不便地区と言われる新郷地区へ新交通システムを導入して頂くべく何

トリップ数、移動量は10年前から約7%増えた事、60歳以上の方々の移動が著しく増加した事、移動目的で私的用途が男女共に増えた事、平均移動時間が長くなった事、交通手段として東京23区や政令市では鉄道利用が増え、自動車利用が減少した事等が読み取れました。こうした集計結果について本市として、どの様な見解をお持ちなのか伺います。

答え A 公表された東京都市圏パーソントリップ調査の結果を見ますと、議員ご指摘のとおり、この10年間で60歳以上の移動量の増加や私

事目的の移動の増加、通勤、業務目的での自動

る一方、区画整理未整備地区の前野宿地区の普及率が21年度末78%見込みとなります。ところが、現在においても新郷地区で唯一、下水道普及率が0%の町会が存在します。これが東貝塚と大竹地区でほぼ構成されている大東町会でもあります。

現在では、処理分区の問題で予算確保が出来たとしても3、4年先と仄聞しております。

そこで、私は、東本郷赤山通りを挟んで向かい側のエリアが整備済みであるのだから、高低差がクリアされ、処理分区の一部変更が効くのであれば、東本郷赤山通りの既設の污水管を横断させて同地区に入れて、一部面整備に着手できないかと考えました。

大東町会エリアへの公共下水道整備の第一歩としてご検討戴きたいのですが、いかがでしょうか、ご見解をお伺いします。

答え A 東本郷赤山通りの西側の大部分が川口第3処理分区として、東側の大東町会等については川口第2ー3処理分区として整備を進めております。

東本郷赤山通りに污水管を横断させて、同地区の一部面整備を先行着手する事につきましては、同路線には、工業用水や上水道管等の地下埋設物もあることから、管布設の可能性の調査及び処理分区が異なることから、認可変更手続きの協議が必要となります。今後、実現に向けて調査と協議を進めて参りたいと存じます。



車利用の減少と鉄道利用の増加といった変化が表れていることがわかります。こうした傾向を踏まえ、今後、本市の交通対策を講じる際には、高齢者の移動ニーズへの対応や、通勤・業務、私事と言う移動目的を踏まえ、た施策の検討、鉄道駅へのアクセスの改善といった交通機関の連携等を意識していく必要があると考えられますので、平成22年度以降実施する総合交通体系調査事業の中で、より詳細に分析し、今後の取り組みに活用して参りたいと存じます。



新郷東部第2土地区画整理事業について

質問 Q 今後の優先箇所について

平成10年の事業決定から今日までこの事業も11年間で過ぎようとしています。私は議員になって7年間これまで欠かさず事なく一般質問で取り上げてきました。

何故なら、新郷地区でもあり事業面積約165ヘクタール、総事業費、約874億円、移転家屋1,871棟、現行施工中の地区では市内で一番、埼玉県内でも最も大きな規模の事業区であるからです。平成22年度当初予算編成については、引き続き民生費の増大が影響し、土木費の前年比11%減でありつつも、特別会計の区画整理事業ではほぼ前年同額予算を

新郷南小学校の特別支援学級について

質問 Q 学校教育法に基づき、特別支援学級の設置が規定されております。

川口市において、現在、小学校で10校設置されております。その中で児童数が27人と特に多いのが新郷南小学校であります。

教員数は補助員を加えて5人、教室も満杯状態にきているとの事であり、加えて、27人の内14人が安行地区からの児童である事から、人によっては、行き帰りのバスに片道1時間半以上も乗車しているということがあります。

そこで質問ですが、安行地区から通う児童を第一に考え、新郷南小学校の特別支援学級の負担軽減も図るべく適切な学校に特別支援学級を新設する事は出来ないものか、お伺いします。

答え A 議員ご指摘のとおり、新郷南小学校の特別支援学級については、クラス数が増加している現状にあります。安行地区の特別支援学級の児童が、安全に且つ快適に通えるように、現在川口市全体のバランスを考慮しながら、平成23年度に向けて、特別支援学級の施設及び適正な配置について検討を進めていくところでございます。



質問席から執行部に向かってるところ